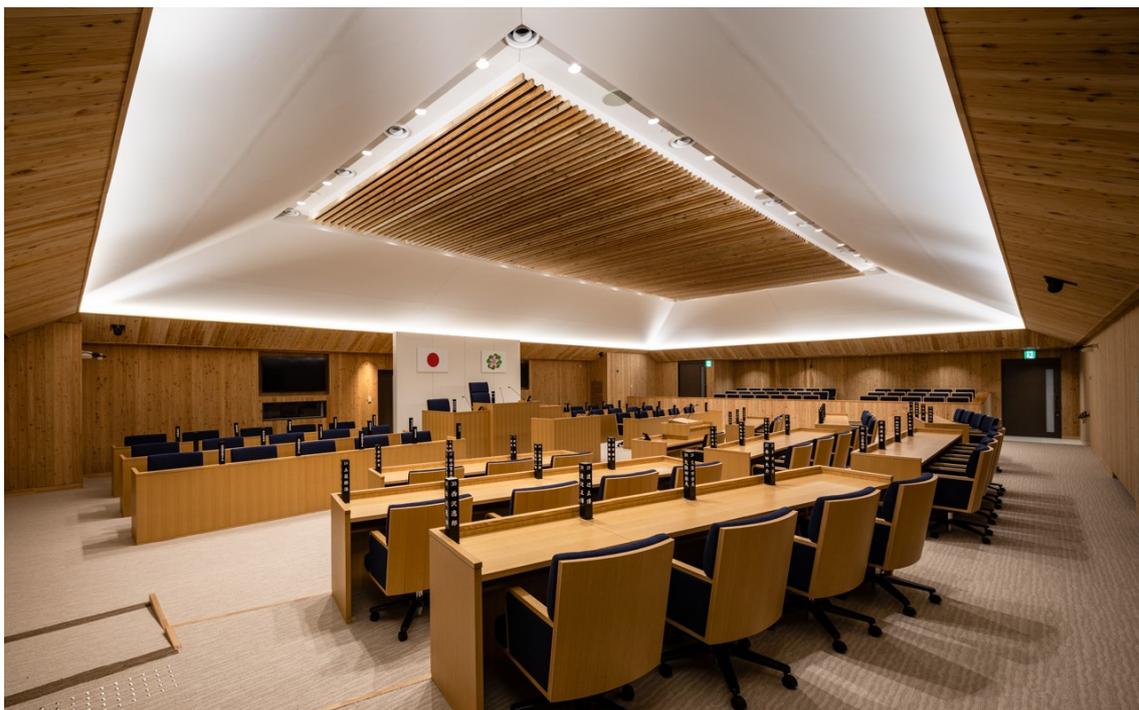


# 令和5年度 上田市議会報告会



上田市議場

上田市議会

# 目 次

- 1 上田市議会議員名簿 …………… 1 ページ
- 2 市議会のしくみ …………… 2・3 ページ
- 3 総務委員会活動報告 …………… 4・5 ページ
- 4 産業環境委員会活動報告 …………… 6・7 ページ
- 5 教育厚生委員会活動報告 …………… 8・9 ページ
- 6 市民建設委員会活動報告 …………… 10・11 ページ
- 7 広報広聴委員会活動報告 …………… 12・13 ページ
- 8 議会運営委員会活動報告 …………… 14・15 ページ
- 9 請願・陳情の審査状況 …………… 16 ページ



議会報告会ホームページ



上田市議会 YouTube

# 上田市議会 議員名簿

議席	氏名	ふりがな	役職	常任委員会	会派	自治会等
1	石井 史郎	いしいしろう		産業環境	無会派	下吉田
2	泉 弥生	いずみ やよい		教育厚生 広報広聴	日本共産党上田市議団	下組
3	村越 深典	むらこしじんてん		産業環境 広報広聴	壮志会	下之郷
4	中村 知義	なかむらともよし		市民建設 広報広聴	上志の風	中丸子
5	武田 紗知	たけださち		産業環境 広報広聴	上志の風	下川原柳町
6	飯島 裕貴	いじま ゆうき		産業環境 広報広聴	新生会	城北
7	松山 賢太郎	まつやま けんたろう		市民建設 広報広聴	仁政会	染屋
8	古市 順子	ふるいち じゅんこ		○ 市民建設	日本共産党上田市議団	竹室
9	高田 忍	たかだしのぶ		教育厚生	壮志会	鳥屋
10	原 栄一	はら えいいち		◎ 市民建設	壮志会	大屋
11	松尾 卓	まつお たかし		市民建設	公明党	下本入
12	金沢 広美	かなざわ ひろみ		○ 産業環境 ○ 広報広聴	公明党	岩清水
13	矢島 昭徳	やじま あきのり		総務	上志の風	久保林
14	堀内 仁志	ほりうち ひとし		総務	上志の風	上田原
15	石合 祐太	いしあい ゆうた		○ 総務 広報広聴	新生会	大久保
16	斉藤 達也	さいとう たつや		◎ 産業環境	新生会	材木町
17	斉藤 加代美	さいとう かよみ		○ 教育厚生 ◎ 広報広聴	新生会	海戸
18	佐藤 論征	さとう のりゆき	議長		新生会	真田
19	西沢 逸郎	にしざわ いつろう	副議長	総務	仁政会	城北
20	久保田 由夫	くぼた よしお		総務	日本共産党上田市議団	長瀬中央
21	宮下 省二	みやした しょうじ		◎ 総務	壮志会	諏訪形
22	池上 喜美子	いけがみ きみこ		教育厚生	公明党	踏入
23	半田 大介	はんた だいすけ		総務	公明党	保野
24	金井 清一	かない せいいち		市民建設	上志の風	塩田新町
25	飯島 伴典	いじま ともり		◎ 教育厚生	上志の風	木町
26	池田 総一郎	いけだ そういちろう		教育厚生	上志の風	上本郷
27	井澤 毅	いざわ つよし		市民建設	新生会	越戸
28	土屋 勝浩	つちや かつひろ		総務	新生会	長島
29	尾島 勝	おじま まさる		産業環境	新生会	久保林

## 市議会のしくみ

市議会は、市民の直接選挙により選ばれた議員で構成されます。

市民全体を代表する機関として、市の最終的な意思を決定するとともに、執行機関を監視するという大切な役割を持っています。

市長をはじめとする「執行機関」は、よりよい市政運営のためにいろいろな施策を立案し実行します。これに対し、市議会は「議決機関」と呼ばれ、市長の立案した事柄について意見を述べ、審査及び議決し、最終的な上田市の意思を決定します。

市長と議員が、教育や福祉あるいは産業振興といった市民生活に関係ある事項について真剣に検討を行う市議会は、市民の声を行政に反映させる場であるといえます。

### 市議会議員

市議会議員は、住民全体の代表である非常勤の特別職公務員です。

市政の各種課題の解決に向けて市民の声をくみとり、これを市政に反映させる一方、市政の動きや議会の活動について市民に知らせる使命を帯びています。

### 議長と副議長

議長と副議長は、議員の中から選挙されます。議長は、議会の代表者であり、会議を円滑に運営するほか、議会全体の事務を処理するなどの権限を持っています。

副議長は、議長が病気などで職務をとれない場合に代行します。

### 会派

会派とは、同じような考えを持った議員の集まりで、議会活動において自分たちの考えを会派の意見としてより強く打ち出すことができます。

上田市議会は、国会と同様に会派制をとっており、3人以上の議員により会派を結成することができます。

### 本会議と委員会

議員全員が議場に集まって開く会議が本会議です。この本会議の議決がなければ、条例や予算などは法的な効力を生じません。

委員会は、市の事務を効率的かつ専門的に審査するため分野別に分担して議案などを審査し、本会議に報告します。委員会は、本会議の予備審査機関として重要な役割をもっています。

### 常任委員会

委員会名(定数)	所管事項
総務委員会 (8人)	秘書課、危機管理防災課、櫓復元推進室、政策企画部、総務部、財政部、会計課、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員及び固定資産評価審査委員会に関すること。他の委員会に属さないこと。
産業環境委員会 (7人)	環境部、産業振興部、農業委員会、上下水道局に関すること。
教育厚生委員会 (7人)	福祉部、福祉事務所、健康こども未来部、教育委員会に関すること。
市民建設委員会 (8人)	市民まちづくり推進部、都市建設部、消防部に関すること。
広報広聴委員会 (9人)	市民意見の集約、議会の活動内容を市民に提供すること及び市民意見の把握に関すること。

### 議会運営委員会

議会運営委員会 (8人)	議会の運営、議会の会議規則・委員会に関する条例等及び議長の諮問に関すること。
-----------------	--

### 特別委員会

	必要に応じて議会の議決により設置されます。議決された特別の事項についてのみ審査し、審査が終了した時点で消滅します。
--	---



# 総務委員会からの報告

## 1 総務委員会の構成



西沢逸郎委員、久保田由夫委員、半田大介委員、土屋勝浩委員  
矢島昭徳委員、宮下省二委員長、石合祐太副委員長、堀内仁志委員

## 2 総務委員会の主な仕事

- 地方創生・DX推進、学園都市、政策研究、広報広聴などに関すること
- 防災、法規、情報システム、行財政改革などに関すること
- 予算（歳入）・財務、税金、入札・契約などに関すること
- スポーツ・文化振興、観光・シティプロモーションなどに関すること

## 3 重点的に取り組んでいる主な活動

### （1）指定管理者制度のあり方

総務委員会では、委員任期で取り組むべき重点課題を「指定管理者制度のあり方」として進めています。平成15年の地方自治法の改正により導入された指定管理者制度は、公共的な団体等に限られていた公の施設の管理運営を、広く民間の事業者や団体にも認める制度であり、現在、市の116施設で実施されています。

コスト節減やサービスの質の向上などを制度の目的に掲げていますが、令和6年3月までに現状と課題を分析し、制度全体の有効活用について調査、研究を行い、上田市に提言書を提出してまいります。

①重点課題に対する取り組み

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理制度の現状と課題の分析</li> <li>・ 指定管理者選定委員会のあり方</li> <li>・ 各部局で行っている指定管理業務の統括的な管理体制</li> <li>・ 評価（セルフモニタリング）の限界と課題</li> <li>・ 条例・規則の整備状況、チェック体制</li> </ul>
---

②令和5年9月4日 中間提言書を上田市に提出しました。

(2) 公立大学法人長野大学

総務委員会では、公立大学法人長野大学の安定した学校運営に向けて信頼される大学、学部学科再編及び老朽化している学校施設の整備などについて調査、研究を行ってまいります。

(3) 上田市に提出した総務委員会関係の附帯意見

①令和3年度一般会計決算に付した附帯意見と市の取り組み結果

附帯意見	市の主な取り組み（結果）
内部統制の整備について	・ 令和4年度に内部統制導入に向けた研修を実施した。また、令和6年度の試行を目指し、令和5年度は制度・組織の検討を実施していく。
未利用土地の一元管理と利活用の促進について	・ 一元管理については、具体的な事務処理の方法、スケジュール等を引き続き検討していく。利活用の推進については、政策企画課の土地利用調整担当が調整役となって市有財産の有効活用を推進していく。
基金の活用について	・ 長期間活用のない5件の基金のうち、2件は令和5年度に活用する。また、残りの3件は有効活用に向けた取組を継続していく。

②令和4年度一般会計決算に付した附帯意見（今年9月議会）

- ・ 未利用財産の活用について（長期保有土地の処分、基金の活用）
- ・ 不納欠損処理及び収入未済額の縮減について
- ・ 人事行政について

(4) 行政視察

視察地	時期	視察項目
福井県小浜市	R5. 8. 1	・ 小浜市・若狭町日本遺産活用推進協議会について
三重県桑名市	R5. 8. 2	・ 指定管理者制度の見直し及び公民連携によるネーミングライツについて
福井県福井市	R5. 8. 3	・ 財産有効活用民間提案制度について

(5) 主な懇談会

懇談団体	時期	懇談内容
上田市選挙管理委員会	R5. 7. 10	・ 投票率の向上について
菅平高原観光協会	R5. 10. 12	・ 菅平高原の観光事業の現状などについて

(6) 所管事務調査等

所管施設等	時期	担当課
長野大学（学部学科再編・施設整備）	R5. 3. 7	学園都市推進室
上田城跡発掘調査現場	R5. 3. 9	生涯学習・文化財課

# 産業環境委員会からの報告

## 1 産業環境委員会の構成



武田 紗知委員、尾島 勝委員  
石井 史郎委員、斉藤 達也委員長、金沢 広美副委員長、村越 深典委員

## 2 産業環境委員会の主な仕事

- 工業・商業・農業・林業・林産業等の産業振興と雇用等労働行政に関すること
- 上水道・下水道・農業集落排水事業に関すること
- 環境衛生、ゼロカーボンシティ推進、ごみ処理等に関すること

## 3 重点的に取り組んでいる主な活動

### (1) 特定の産業に限定しない中小企業・小規模事業者の「経営者への支援」

令和4年度は、豊富なビジネス経験を持つセンター長が無料で経営相談に応じ、全国各地で成果をあげている中小企業支援モデル「ビズモデル」の取り組みを調査・研究してきました。上田市への導入に向けて執行部との議論も重ねてきましたが、現状では予算確保等の課題があり、導入には至っておりません。コロナ禍に続き、円安や物価の高騰と厳しい経営環境の中、その真価を問われている支援機関のあり方を、引き続き研究してまいります。

### (2) 公民連携のまちづくりに向けた調査・研究

7月20日には行政100%出資の株式会社が民間のノウハウを活かして黒字経営している道の駅みなみやましろ村（京都府南山城村）を、7月21日には凍

結解凍覚醒法によるコーヒー栽培で全国から注目されるやまこうファーム株式会社（岡山県岡山市）の行政視察を行いました。特に道の駅などの公共施設経営は、民間の強みやノウハウを活かした公民連携による稼ぐ公共施設の事例が増えてきています。人口減少等により上田市の財政状況も厳しさが増していく中、経済性や収益性も十分に考慮した持続可能な行政経営ができるよう、具体的な提案をしてまいります。

（３）将来にわたる市民益を第一に考えた水道事業広域化の調査・研究

7月19日には水道事業広域化に「条件付き」での参加を決めた奈良県大和郡山市の行政視察を行いました。給水人口の減少や老朽化による施設の更新や耐震化、人材不足・技術の継承など、様々な経営上の課題がありますが、水道事業の広域化は市町村の「合併」に相当する一大事業です。100年前から先人たちが築き上げてきた豊かな水源や浄水場などの水道事業を、より良い状態で将来世代に引き継いでいくために、引き続き、鋭意取り組んでまいります。

（４）行政視察

視察地	時期	視察項目
奈良県大和郡山市	R5. 7. 19	水道事業の広域化について
京都府南山城村	R5. 7. 20	道の駅お茶の京都南山城村について
やまこうファーム(株)	R5. 7. 21	凍結解凍覚醒法による国産コーヒー豆栽培について
長野県小諸市	R5. 7. 27	「水みらい小諸」及び水道事業について

（５）主な懇談会

懇談団体	時期	懇談内容
A R E C	R4. 11. 18	事業者支援について
上下水道局	R4. 11. 18	水道事業広域化について
上田地域市町村議会議員研修会	R5. 1. 23	Bizモデル創始者による講演
上田商工会議所（交通・観光サー ビス業部会並びに工業部会）	R5. 2. 13	各部会の取組と課題について
上下水道局、有識者	R5. 5. 29	水道事業広域化に係る懇談
産業振興部	R5. 5. 30	Bizモデルについて

# 教育厚生委員会からの報告

## 1 教育厚生委員会の構成



高田忍委員、池上喜美子委員、池田総一郎委員  
泉弥生委員、飯島伴典委員長、齊藤加代美副委員長、飯島裕貴委員

## 2 教育厚生委員会の主な仕事

- 福祉、高齢者介護、障がい者支援に関すること
- 健康推進、国民健康保険、高齢者医療、保育園、幼稚園、子育てに関すること
- 上田市立産婦人科病院、武石診療所に関すること
- 小中学校教育、公民館、図書館、文化振興に関すること

## 3 重点的に取り組んでいる主な活動

### (1) 健康づくりに関する施策と事業の推進について

・教育厚生委員会では「健康づくりに関する施策と事業の推進」を重点課題とし、調査研究を行っています。令和5年度は、上田市において血糖の高い方が多い傾向にある中、糖尿病予防において、協働による野菜摂取の啓発活動により成果を上げている富山県砺波市の取組を調査しました。また、健康寿命の延伸や健康無関心層への行動変容を促すことが上田市の課題となっている中、静岡県三島市におけるスマートウエルネスみしまの取組を調査しました。上田市では令和6年度から第四次上田市民健康づくり計画が開始されますが、健幸都市の実現に向け効果的な施策が展開されていくよう、砺波市や三島市の取組も参考にさらなる研究を進めてまいります。

・ 11月10日（金）には、食と健康をテーマに車座集会を開催します。市民の皆さんと食を通じた健康づくりについて意見交換を行い、課題等を把握するとともに、いただいたご意見などを今後に生かしてまいります。

(2) こども政策に関する部局間の連携の推進について

・ 令和5年度から教育厚生委員会の所管に教育委員会が加わり、子どもに関する施策について、より効果的な審査を行うことができるようになりました。今年度は、子どもに関する施策の先進的取組として、0歳から20歳までの子ども・若者に関する相談に関係機関と連携し、総合的・継続的にワンストップで対応する岐阜県岐阜市における子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”を調査しました。多様化・複雑化する子どもに関する課題に対し、上田市において、さらなる部局連携体制が推進されるよう、岐阜市の取組も参考に研究を進めてまいります。

(3) 義務教育の一層の充実について

令和5年9月定例会では、義務教育の一層の充実に向け、義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、教員業務支援員等の学校業務を支援する支援スタッフの配置や学校施設の整備に必要となる財源を確保することを国に求める意見書議案を提案しました。議案は最終日の本会議で可決され、市議会から国へ意見書を提出しました。

(4) 行政視察

視察地	時期	視察項目
富山県砺波市	R5. 8. 1	となベジプロジェクトについて
岐阜県岐阜市	R5. 8. 2	岐阜市子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”について
静岡県三島市	R5. 8. 3	・ スマートウエルネスみしまについて ・ 第2次三島市健康づくり計画について

(5) 所管事務調査

調査事項	時期	担当課
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育施設の整備計画について (現地視察：清明小、北小、中塩田小)</li> <li>・ 小中学校におけるLED化事業について</li> <li>・ 小中学校におけるトイレ改修事業について</li> </ul>	R5. 8. 21	教育施設整備室

# 市民建設委員会からの報告

## 1 市民建設委員会の構成



中村 知義委員、古市 順子副委員長、井澤 毅委員  
松山 賢太郎委員、原 栄一委員長、金井 清一委員、松尾 卓委員

## 2 市民建設委員会の主な仕事

- 戸籍、マイナンバー、自治会、市民協働、地域協議会、地域自治組織、人権男女共同参画、ふるさと寄付金、結婚支援、移住に関すること
- 道路、水路、公園、都市計画、公共交通、空き家対策、市営住宅に関すること
- 消防団に関すること、消防施設、水防に関すること

## 3 重点的に取り組んでいる主な活動

### (1) 移住定住対策について

全国的に人口減少が進む中、上田市でもいかに移住・定住を進め人口減少に歯止めをかけるかが、課題となっています。令和4年度は上田市の移住件数、移住者数も過去最高となりましたが、引き続きの積極的な取組が求められます。委員会としても今期の重点課題として取り組んでいます。

先進自治体として、昨年7月の岩手県一関市に続き、今年8月には香川県観音寺市、香川県宇多津町の取組について学んできました。議会報告会のテーマ別集会でも、移住された方の生の声をお聞きしたいと準備しています。

委員会としても効果的な施策を研究し、報告したいと考えています。

## (2) 公共交通について

上田市でも高齢化が進む中で、地域公共交通についてのご要望は多く、市政の重要課題の一つです。市では来年度から施行される「上田市地域公共交通計画」を策定中ですが、委員会としても、各地域の実情や要望に沿った計画となるよう注視しています。

先進自治体として、昨年7月の栃木県宇都宮市に続き、今年8月には香川県高松市で「持続可能な公共交通ネットワーク形成に向けたまちづくりの取組」について学んできました。公共交通とまちづくりは一体で進めること。鉄道を基軸としたバス路線の再編、需要に合わせた供給の最適化を行うことなど、参考になりました。委員会として意見をまとめ、市政に反映できるよう努めたいと考えています。

## (3) 消防団について

上田市消防団は、昨年度大幅な定員見直しを行い、実情に即した組織作りを行っています。また、昨年度から災害出動等の際に出動時間に合わせた手当の支給、団員報酬の引き上げも行われ、消防団員の処遇改善に努めています。

今年度は機能別団員制度が導入され、武石自治センター職員11名が、第1号となりました。今後基本団員確保が難しい状況の中、機能別団員をどのように広げていくか、委員会としても研究していきたいと考えています。

## (4) 行政視察について

①香川県高松市：持続可能な公共交通ネットワーク形成に向けたまちづくりの取組

②香川県観音寺市：

移住定住促進事業の取組

③香川県宇多津町：

空き家サポートネットワーク、  
移住定住促進事業の取組



視察の様子（香川県宇多津町）

# 広報広聴委員会からの報告

## 1 広報広聴委員会の構成



中村知義委員、武田紗知委員、飯島裕貴委員、松山 賢太郎、石合祐太委員  
泉弥生委員、齊藤加代美委員長、金沢広美副委員長、村越深典委員

## 2 広報広聴委員会の主な仕事

- 市民意見や要望等を公聴・集約し、議会活動に生かすこと  
(WEB議会報告会・テーマ別車座集会の開催等)
- 議会の活動等を広くお知らせすること(上田市議会だより年4回発行、インターネット生中継、録画配信、SNS等による情報発信、議場見学会や議会出前授業の開催等)

## 3 重点的に取り組んでいる主な活動

市民に身近で開かれた議会を目指し、広報・広聴機能のより一層の充実を図っています。

### (1) 分かりやすく読みやすい上田市議会だよりの検討

議会活動写真を表紙に取り入れ、写真やイラスト、図解を入れより分かりやすい紙面づくりに努力しています。「市民の皆様に取り読んでいただける」ことを課題と捉え、中核市議会議長会「第17回議会報コンクール」で優秀賞を受賞した、千葉県船橋市を視察しました。今後も専門用語の解説をいれ、今後議会だよりに関するアンケートを実施し、より手に取っていただける紙面づくりを目指します。また、視覚等に障害がある方に、音訳ボランティアの皆様が音声版市議会だよりを作成し、21人(8.10現在)にCD、テープで届けています。今後、WEBサイトの音声データの掲載など検討を進めていきます。

## (2) 今後の議会報告会のあり方の検討

○令和5年度: インターネット配信の議会報告会とテーマ別車座集会(4か所)

①議会報告会: 昨年に引き続き、with コロナに適応したインターネット配信の番組形式で、広報公聴委員会で自主制作した番組方式でのWEB議会報告会を準備しています。

②テーマ別車座集会: 「議員と語ろう! 車座集会」を常任委員会ごとにテーマ設定をして実施します。常任委員会ごと、市民の皆様の貴重なご意見を広聴し、ディスカッションしながら、議員間討議を踏まえ、政策提言等に生かしていきます。また、「市民との意見交換会」で広聴した市民意見をもとに有効な政策提言に結びつけている取組みについて、福島県会津若松市に視察しました。より政策的な議論に繋げていかれるよう、議会運営委員会などと深く連携をとり、検討を進めていきます。

開催日	委員会	テーマ
11月8日(水)	総務委員会	高校生と語る上田市の未来
11月9日(木)	市民建設委員会	移住定住～上田で人生を一緒に楽しもう～
11月10日(金)	教育厚生委員会	食と健康～食を通じた健康づくりについて語ろう～
11月10日(金)	産業環境委員会	上田市の産業を元気にしよう

(3) インターネットによる議会中継とSNS(交流サイト)のスピーディーな情報発信  
上田市議会のページで、令和3年9月定例会から、議会中継と録画配信を行っています。録画配信は、会議の翌日から起算しておおむね5日後(土、日、祝日を除く)からご覧いただけます。映像の検索項目は、「会議名でさがす」「議員名でさがす」「会派名でさがす」「用語検索」から見たい映像を検索してご覧いただけます。ツイッター、フェイスブックで、議会活動のスピーディーな情報発信に心がけます。

## (3) 行政視察

視察地	時期	視察項目
千葉県船橋市	R5.1.19	議会広報誌について
福島県会津若松市	R5.1.20	意見交換会を通じた市民意見の広聴について

## (4) その他

6月22日・認定NPO法人侍学園スクオーラ・今人への出前授業

# 議会運営委員会からの報告

## 1 議会運営委員会の構成



久保田 由夫委員、飯島 伴典委員、飯島 裕貴委員  
西沢 逸郎委員、松尾 卓委員長、井澤 毅副委員長、村越 深典委員

## 2 議会運営委員会の主な仕事

円滑な議会の運営を期すため、議会運営について協議し、意見調整を図る

- 議会の運営に関する事項
- 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- 議長から諮問された事項の調査・検討

## 3 重点的に取り組んでいる主な活動

### (1) 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた議会運営

新型コロナウイルス感染症に係る対策等の変化を的確に捉えて、適切な議会運営に努めるため、協議や意見の集約を図っています。令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行された後も、特に休憩時間を短縮して一般質問を実施するなど、アフターコロナの議会運営という観点から取り組みを行っています。また、感染症や災害にも備え、委員会審査のオンライン開催など、議会機能の継続性を高めるため、必要な取り組みを研究しています。

### (2) 常任委員会の所管事項等の見直しと一般会計決算の審査方法の検討

上田市の令和5年度組織改正では、部の新設、改編及び教育委員会から市長部局への移管等が行われることから、上田市議会としても、常任委員会の所管事項等を変更する必要が生じました。所管事項の変更にあたっては、常任委員会間における所管事

項の平準化や、委員会審査の活性化、運営の円滑化を図り、今年度から所管事項の見直し等を行った新たな常任委員会を設置しています。

【所管事項の変更に伴う常任委員会の名称変更】(R5. 4. 1～)

変更前		変更後
総務文教委員会	⇒	総務委員会
産業水道委員会		産業環境委員会
厚生委員会		教育厚生委員会
環境建設委員会		市民建設委員会

また、一般会計決算については、「議案一体の原則」などを考慮した審査を行うため、平成29年度から特別委員会への一括付託による審査を試行し、検証・改善を進めています。今年度、常任委員会の所管事項等の変更を踏まえた初めての審査が行われましたが、今後も一般会計決算を効果的に審査するための検証を行い、一括審査に向けた審査方法の確立を進めてまいります。

(3) 議会活動のICT化推進

上田市議会のICT化の更なる推進を図るため、昨年度、全国で初めてオンラインによる委員会を開催した議会等への視察を行いました。今年度も、オンライン委員会の開催の環境づくりとして必要な議会基本条例や議会会議規則の改正、オンライン会議の運営などについて、さらに研究、検討を重ね、上田市議会でのオンライン会議や委員会の開催に向け、議会基本条例や議会会議規則の改正等を進めてまいります。

(4) 行政視察（実施予定）

視察地	時期	視察項目
静岡県菊川市	11月上旬	委員会のオンライン会議及び運用規程について 等
岐阜県瑞浪市	11月上旬	一般質問進捗状況調査について

## 令和4年12月議会以降の請願・陳情の審査、意見書の提出状況

### 請願

年	議会	件名	提出者	付託先	審査結果
R4	12月	免税軽油制度の継続を求める請願	菅平旅客索道協会 会長 佐藤芳暢氏 (紹介議員:金沢広美議員)	総務文教	採択
R5	3月	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願	上小地区労働組合連合 議長 金井文明氏 (紹介議員 古市順子議員、石合祐太議員)	産業水道	不採択
R5	9月	「再審法(刑事訴訟法の再審規定)」の速やかな改正に関する請願	滝澤修一氏 (紹介議員:土屋勝浩議員)	総務	継続審査
R5	9月	現行の健康保険証を存続することを求める請願	上田小県民主商工会 会長 橋本春雄氏 (紹介議員:古市順子議員)	教育厚生	不採択

### 陳情

年	議会	件名	提出者	付託先	審査結果
R4	12月	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子氏	厚生	不採択
R4	12月	議会が宗教によって「政治的な差別」を行わないことを求める陳情	衣川弘明氏 ほか9人	議会運営	不採択
R4	12月	子どもの自由と権利を求める陳情	上田市子どもを守る会 代表 岩岡紋衣氏 ほか1人	総務文教	不採択
R4	12月	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情(継続審査)	長野県たばこ販売協同組合 理事長 岸田豊氏	総務文教	趣旨採択
R5	3月	庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情	衣川弘明氏	総務文教	不採択
R5	6月	「少人数学級推進のための教育予算の確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める陳情	上田市教職員組合 執行委員長 宮澤裕子氏	教育厚生	不採択
R5	6月	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める陳情	上田市教職員組合 執行委員長 宮澤裕子氏	教育厚生	不採択
R5	9月	「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を求める陳情	長野県保険医協会 会長 宮沢裕夫氏	教育厚生	不採択
R5	9月	上田市公民館使用料の受益者負担のあり方に関する陳情	竹内秀行氏	総務	不採択
R5	9月	国による原発汚染水(ALPS処理水)海洋放出の停止を求める陳情	食とみどり、水を守る上小地区会議 議長 木村俊行氏	産業環境	不採択

### 意見書・決議

年	議会	件名
R4	12月	免税軽油制度の継続を求める意見書
R5	6月	エネルギー価格激変緩和対策事業の継続を求める意見書
R5	6月	地方財政の充実・強化を求める意見書
R5	9月	義務教育の一層の充実を求める意見書

